特定非営利活動法人 環境の杜こうち 2006年第３回理事会議事録

１　日時　　2006年5月16日(火)　15時00分～17時00分

　会場　　環境活動支援センター えこらぼ

２　理事総数および出席者数

理事総数　12名　　出席者数　7名　以下

出席理事　　新本、石川、兼松、川村、西村、松本、山下

出席監事　　西川

事務局　　上田

県　　坂本(循環型社会推進課チーフ)、竹澤(同課主任)

３　議長　　議長　　＿＿＿＿＿＿＿＿印

４　議事録署名人　議事録署名人　＿＿＿＿＿＿＿＿印　・　＿＿＿＿＿＿＿＿印

５　議事録作成人　事務局（上田　史）

議長に全員一致で理事長を承認した。議事録署名人は松本理事、新本理事、議事録作成は事務局とすることを全員一致で承認した。

６　議事

審議事項第１号　ホームページ作成に関する件について事務局長から説明(資料1)。業者選定については吉井理事に一任した上で簡易入札を行い、理事長、副理事長、事務局長で決裁するということが全員一致で諒解された。

◇県循環型社会推進課 竹澤主任より、ホームページにはこどもエコクラブ、エコまなぶのページも加えて欲しいとの意見が出された。

◇新本理事より、維持管理・更新外委託業務の見積りについては追加１頁当りの単価も見積らせてはどうかとの提案があった。

検討事項第１号　環境の杜こうちの柱となる３部会の運営について、理事が中心になって３部会を立上げて方向性を決め、会員に呼びかけ、事務局と連携して運営していくこととした。

検討事項第２号　委託事業の実施方法について事務局長から説明（資料３）。

◇ 環境指標調査作成事業と環境学習方針調査事業については外部スタッフと連携しながら進めたい。特に環境学習方針調査事業は金額が大きく専門性も高い為、地域の専門家とプロジェクトチームを組み委託料を出して共に進めたいとの提案がされた。議長より、部会に任せてはとの意見が出され、賛同を得た。

◇ こどもエコクラブ事業について、交流会の開催に10万円程度の助成金を出して盛り上げたいとの提案がされた。新本理事より交流会は『こどもエコクラブ見本市』がよいのではとの意見が出された。事務局長より理事に対してこどもエコクラブを盛上げるアイデアの提供と実施をお願いしたいとの要望が出た。

◇ エコまなぶ貸出事業について、石川理事より、講師と活用プログラム付きで貸し出してはどうかとの案が出された。西川理事より、まず各理事がエコまなぶの活用方法を知ることが必要なので、勉強会を開こうとの意見が出された。また、山下理事より、エコまなぶを環境指標調査作成事業に活用する例として、有機田畑と普通の田畑で生物調査を行い目で見てわかる指標づくりに役立てられないかとの提案がされ、それぞれ賛同を得た。

◇ フィフティフィフティ事業について、事務局長より、初年度は学校現場や教育委員会に所属しているメンバーを中心に温暖化防止対策部会にも協力してもらって検討委員会を作り、試験的に実施した上で来年度から本格的に動かして行きたい。学校での取組みだけでなく、家庭まで持ち帰ってもらえるような事業展開を考えているとの説明があり、賛同を得た。

検討事項第３号　会員の勧誘について、入会前に正会員・活動会員の違いを理解し個人会員・団体会員の別を確認した上で入会してもらうこと、通常は活動会員としての入会を勧めたいとの提案がされ、賛同を得た。

◇事務局長より、情報提供のみを目的とした無料の「えこらぼ会員」を募集したいとの案が出された。

◇松本理事より、会員募集のパンフレットはいつできるのかと質問。えこらぼ、環境の杜こうち共これから準備すると答えた。

検討事項第４号　職員給与について、事務局長より月給制と年収制の２種類の給与体系を設けて、本人が選べるように変更できないかとの提案があり、３役と事務局長で相談して決定することで諒解を得た。

検討事項第５号　その他として、理事長より、理事会・総会にかかる経費について、出席理事に対して交通費・報償費として支払ってはどうかと提案があり、４月に遡って出せるよう次回に検討するということで賛同を得た。

報告事項第１号　会員について、新入会員と現在の会員数、会費納入者数について事務局長より報告。

報告事項第２号　購入物品について、事務局長より報告。

報告事項第３号　リース物品について、事務局長より報告。

報告事項第４号　回議書について、事務局長より報告。

報告事項第５号　ブログについて、事務局長より報告。

７　議長が閉会の挨拶をし、理事会が閉会した。